beyerdynamic

A 2
ヘッドホンアンプ

取扱説明書

目次

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

	警告 以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら(芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流100ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流(DC)電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し(20cm以上)離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から5cm以上、背面から10cm以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	イヤホンやヘッドホンからの過度の音圧は、聴覚障害の原因となります。聴覚障害の可能性を防ぐために、長時間，高音量で聴かないで下さい。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的(年1回くらい)に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (裏表紙に記載)にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

注意

以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (18 ページに記載) に内部の点検をご依頼ください。費用についてはお問い合わせください。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

警告 コイン形リチウム電池に関する注意

強制	コイン形リチウム電池は､小さなお子様が誤って電池を飲み込むと大変危険です。電池およびリモコンは、幼児の手の届かない場所に置いてください。 万一、お子様が電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

警告 電池に関する警告

強制	**電池を入れるときは、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

注意 電池に関する注意

禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

第1章　はじめに

このたびは、beyerdynamic A2 ヘッドホンアンプをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しい取り扱い方法をご理解いただいた上で、末永くご愛用くださいますようお願い申し上げます。お読みになった後は、いつでも見られる所に保管してください。
また取扱説明書は、TASCAMのウェブサイト（http://tascam.jp/）からダウンロードすることができます。

本機の概要

- ディスクリート構成のフルアナログ回路
- 二つのヘッドホン出力端子（パラレル接続）
- 2系統の入力をモニター可能（切替式）
- 他機器へ信号を送出可能なループスルー出力
- 入力ゲインを切り換え可能
- 出力インピーダンスを切り換え可能
- リモートコントローラー付属
- ヘッドホンスタンド付属

本製品の構成

本製品の構成は、以下の通りです。
なお、開梱は本体に損傷を与えないよう慎重に行ってください。
梱包箱と梱包材は、後日輸送するときのために保管してください。
付属品が不足している場合や輸送中の損傷が見られる場合は、ご購入店もしくはタスカムカスタマーサポート（裏表紙に記載）までご連絡ください。

- 本体　x1
- リモコン（RC2、電池取り付け済み）　x1
- ヘッドホンスタンド　x1
- ヘッドホンスタンド取り付けネジ　x2
- 六角レンチ　x1
- 電源コード　x1
- 取扱説明書（本書、保証書付き）　x1

本書の表記

本書では、以下のような表記を使います。

- 本機および外部機器のボタン／端子などを「**power**ボタン」のように太字で表記します。
- 必要に応じて追加情報などを、「ヒント」、「メモ」、「注意」として記載します。

メモ

補足説明、特殊なケースの説明などを記載します。

注意

指示を守らないと、人がけがをしたり、機器が壊れたり、データが失われたりする可能性がある場合に記載します。

商標および著作権に関して

- TASCAMおよびタスカムは、ティアック株式会社の登録商標です。
- beyerdynamicは、beyerdynamic GmbH & Co. KGのドイツ、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

設置上の注意

- 本機の動作保証温度は、摂氏10度～ 40度です。
- 次のような場所に設置しないでください。音質悪化の原因、または故障の原因となります。

  振動の多い場所
  窓際などの直射日光が当たる場所
  暖房器具のそばなど極端に温度が高い場所
  極端に温度が低い場所
  湿気の多い場所や風通しが悪い場所
  ほこりの多い場所

- 本機は、水平に設置してください。
- 放熱をよくするために、本機の上には物を置かないでください。
- パワーアンプなど熱を発生する機器の上に本機を置かないでください。

電源について

- 付属の電源コードをACインレット端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- AC100V（50-60Hz）以外の電源には、接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。

結露について

本機を寒い場所から暖かい場所へ移動したときや、寒い部屋を暖めた直後など、気温が急激に変化すると結露を生じることがあります。
結露したときは、約1 ～ 2時間放置してから電源を入れてお使いください。

製品のお手入れ

製品の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。化学雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどで拭かないでください。表面を傷める、または色落ちさせる原因となります。
各機器のお手入れを、ご覧ください。

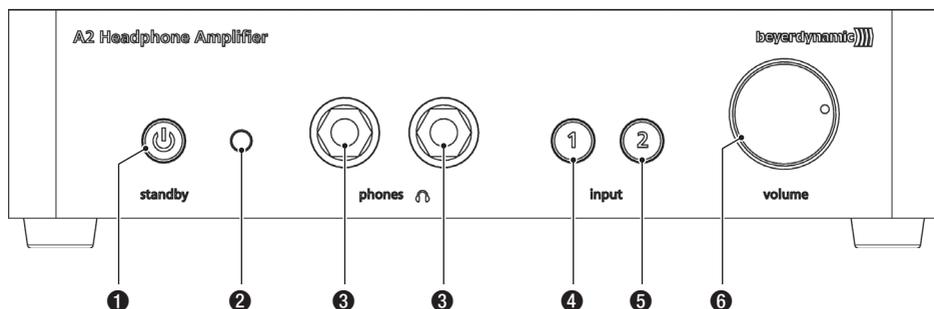
ユーザー登録について

TASCAMのウェブサイトにて、オンラインでのユーザー登録をお願い致します。

http://tascam.jp/support/registration/

アフターサービス

- この製品には、取扱説明書の最終ページに保証書を添付しております。保証書に所定事項が記入されていることを確認して、大切に保管してください。万が一販売店の捺印やご購入日の記載がない場合は、無償修理保証の対象外になりますので、ご購入時のレシートなどご購入店・ご購入日が確認できる物を一緒に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年です。保証期間中は、記載内容によりティアック修理センター（裏表紙に記載）が修理致します。その他の詳細については、保証書をご参照ください。
- 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）にご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理致します。
- 万一、故障が発生した場合は使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター（裏表紙に記載）までご連絡ください。修理を依頼される場合は、次の内容をお知らせください。
  なお、本機の故障、もしくは不具合により発生した付随的損害（録音内容などの補償）の責については、ご容赦ください。
  - 型名、型番（beyerdynamic A 2）
  - 製造番号（Serial No.）
  - 故障の症状（できるだけ詳しく）
  - お買い上げ年月日
  - お買い上げ販売店名
- お問い合わせ先については、裏表紙をご参照ください。
- 本機を廃棄する場合に必要となる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

フロントパネル

❶ standbyボタン／インジケーター

電源オン／スタンバイ状態の切り換えを行います。
電源がスタンバイ状態のときはインジケーターが赤色に点灯し、オンのときは緑色に点灯します。

❷ リモコン受光部

リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。

❸ phones端子

ステレオヘッドホンを接続するためのステレオ標準ジャック（Φ6.3mm）です。ステレオミニプラグ（Φ3.5mm）のヘッドホンを接続する場合は、変換アダプターをご使用ください。

❹ Input1ボタン／インジケーター

Input1を選択します。
選択されているときは、オレンジ色に点灯します。

❺ Input2ボタン／インジケーター

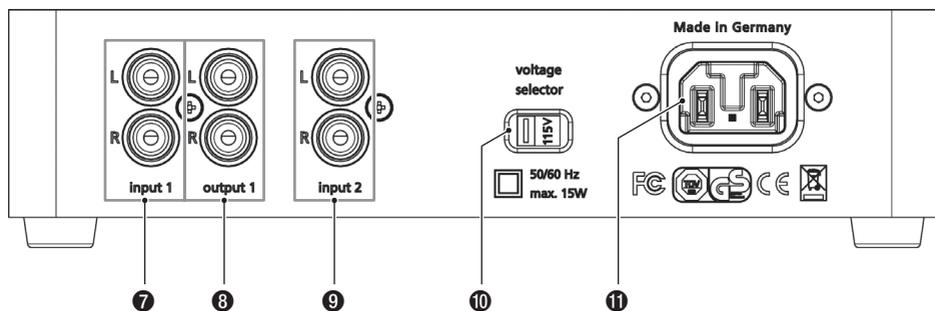
Input2を選択します。
選択されているときは、オレンジ色に点灯します。

❻ volumeつまみ

phones端子の音量を調節します。

注意

- ヘッドホンを接続する前には、volumeつまみで音量を最小にしてください。突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ヘッドホン端子はパラレル接続のため、音量は2台のヘッドホンに対して同時に調節されます。したがって、両方のヘッドホンで同じ音量にするには、同じインピーダンスのヘッドホンをご使用ください。
- 長時間大音量で聴き続けると、聴覚に回復不能な障害を引き起こすことがあります。接続機器や再生するオーディオデータによって出力レベルの差が非常に大きい場合がありますので、お使いになる前や音源を変えるときは音量を下げてください。
- 設定音量を大きくしすぎないようにしてください。安全および健康のために大音量にする場合は、ヘッドホンで聴く時間は短くしてください。

リアパネル

❼ input1端子

ヘッドホンで聴きたいソース（CDプレーヤーなど）を接続します。

❽ output1端子

input1端子に入力された信号をそのまま出力します。ステレオアンプやアンプ内蔵スピーカーなどの入力端子に接続します。

本機の電源がスタンバイ状態でも、output1端子にはinput1端子に入力された信号が常時出力されています。

❾ input2端子

ヘッドホンで聴きたいソース（アンプのAUX OUTなど）を接続します。

❿ voltage selectorスイッチ

使用する国や地域によって電源電圧を選択できるスライドスイッチです。日本国内におきましては、必ず115Vに設定されていることをご確認の上ご使用ください。230Vは動作保障外のため、お客様の自己責任においてご使用ください。

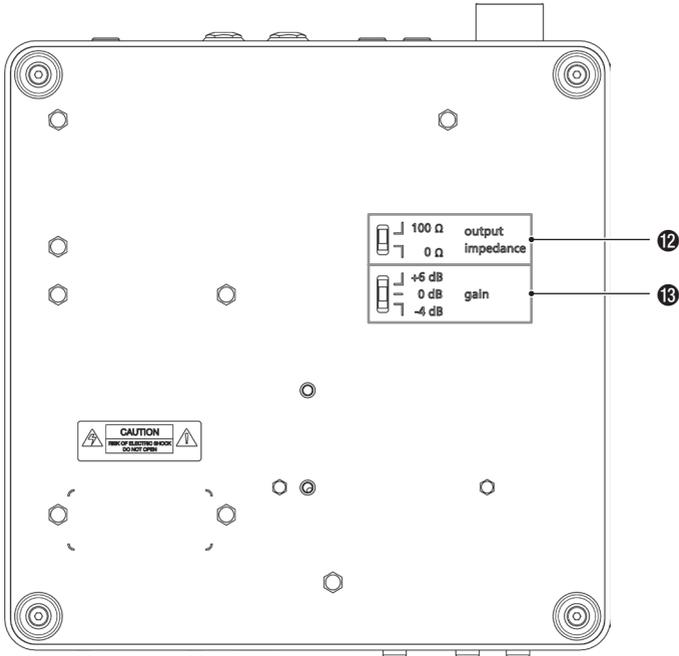
電源電圧が100 〜 120Vの場合、115Vに設定します。
電源電圧が220 〜 240Vの場合、230Vに設定します。

注意

- 出荷時は、日本国内向けに115Vに設定してあります。本機を日本国内で使用する場合、設定を変更しないでください。
- voltage selectorスイッチの設定を変更する場合は、電源コードを接続していない状態で切り換えてください。
- voltage selectorスイッチの設定を変更する場合は、電源電圧を確認し、上記の電源電圧に対応した設定にしてください。設定を間違えると、本機が故障します。
- 通電中にvoltage selectorスイッチの設定を切り換えると内部回路がショートし、本機が故障します。

⓫ ACインレット端子

付属の電源コードを接続します。

ボトムパネル

⓬ output impedanceスイッチ

接続するヘッドホンのインピーダンスを設定します。

0Ω

16Ωまたは32Ωのローインピーダンスヘッドホンを接続するときに設定してください。

100Ω

80Ω、250Ω、600Ωのハイインピーダンスヘッドホンを接続するときに設定してください。

メモ

- どちらの設定を選択しても出力ショート保護回路が働きます。
- 本機の増幅率はインピーダンス32Ωのヘッドホンを接続したとき、どちらの設定を選択しても同じ音量になるように調節されています。

⓭ gainスイッチ

増幅率を設定します。接続する音声出力機器とヘッドホンの感度に合わせて設定してください。

0dB（出荷時設定）

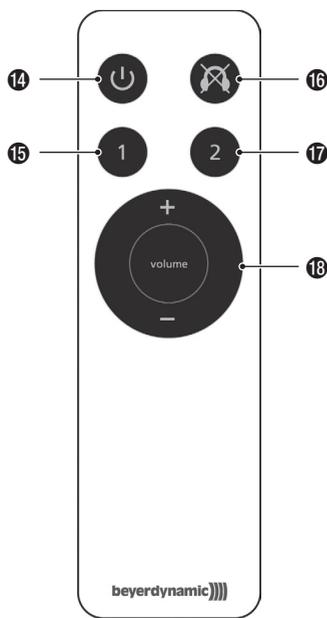
通常はこの設定にします。

-4dB

高感度のヘッドホンまたは高出力の音声出力機器を接続するときに設定してください。

+6dB

低感度のヘッドホンまたは低出力の音声出力機器を接続するときに設定してください。

リモコン（RC2）

注意

赤外線によりコントロールするその他の機器を使用時に、本機のリモコンを操作すると、その機器を誤動作させることがあります。

⓮ standbyボタン

電源オン／スタンバイ状態の切り換えを行います。
電源がスタンバイ状態のときは、本体のstandbyインジケーター（❶）が赤色に点灯し、オンのときは緑色に点灯します。

⓯ input1 ボタン

Input1を選択します。
選択されているときは、本体のinput1インジケーター（❹）がオレンジ色に点灯します。

⓰ ミュートボタン

ミュートボタンを押すと、一時的に音を消すことができます。もう一度押すと元の音量に戻ります。本体のvolumeつまみまたはリモコンのvolumeボタンを操作するとミュートが解除されます。
ミュート中は選択されているinputインジケーター（❹または❺）が消灯します。

⓱ input2 ボタン

input2を選択します。
選択されているときは、本体のinput2インジケーター（❺）がオレンジ色に点灯します。

⓲ volumeボタン

phones端子の音量を調節します。
+ボタンを押すと音量が大きくなります。
+ボタンを押している間、本体のvolumeつまみ（❻）が右に回転し、選択されているinputインジケーター（❹または❺）が点滅します。

ーボタンを押すと音量が小さくなります。
ーボタンを押している間、本体のvolumeつまみ（❻）が左に回転し、選択されているinputインジケーター（❹または❺）が点滅します。

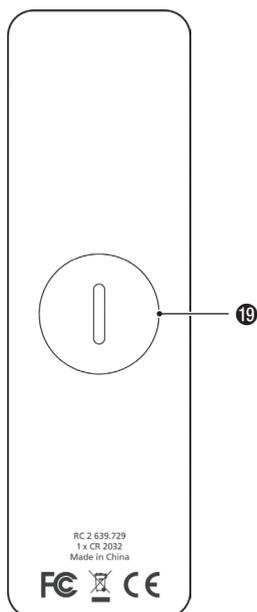
⓳ 電池カバー

注意

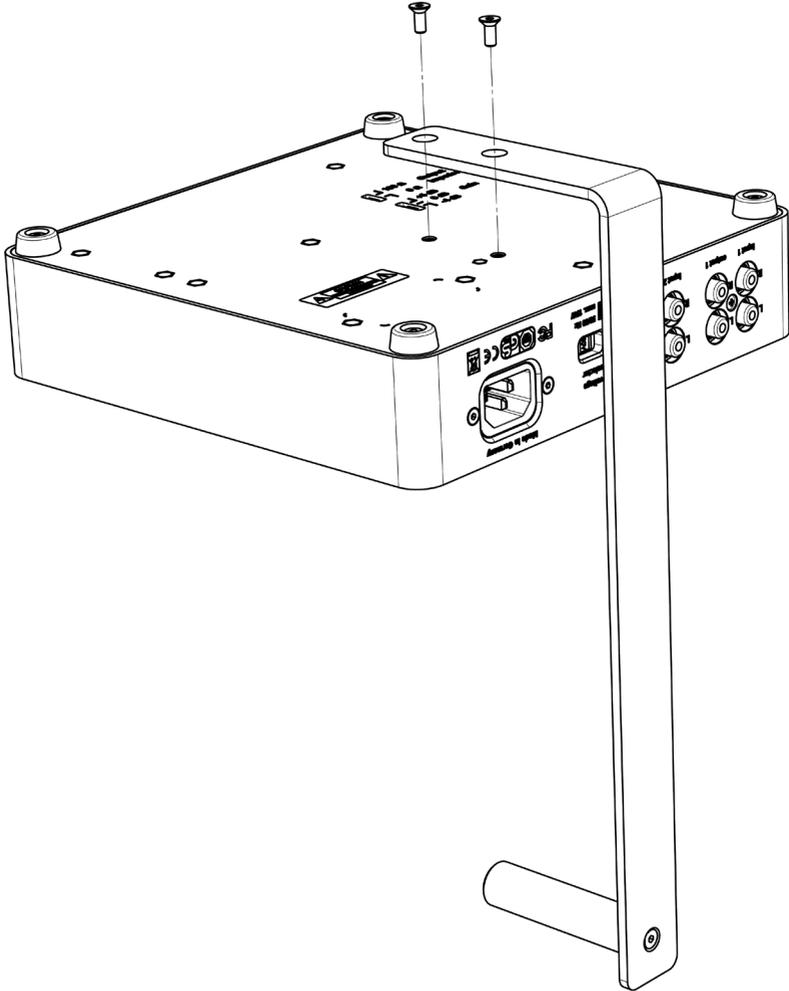
乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。4 ページの「電池の取り扱いについて」をよく読んでお使いください。

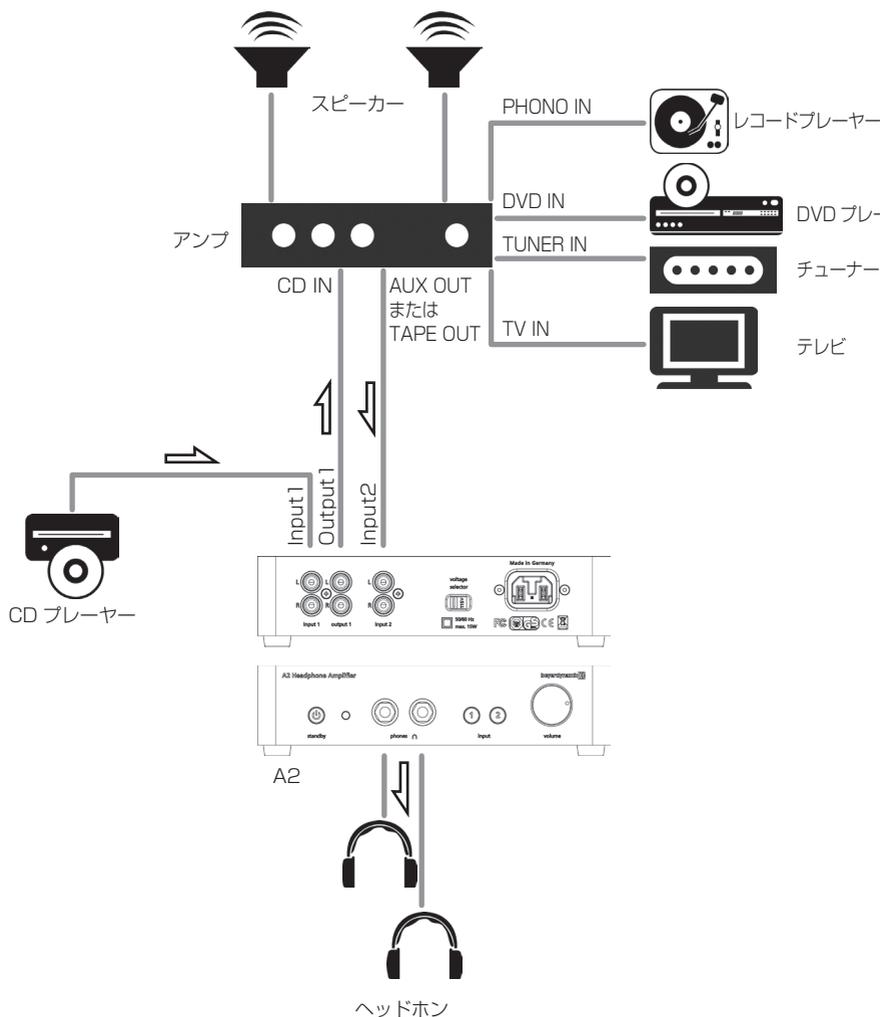
電池の取り付け／交換方法

電池カバーはコインを使って、反時計回りに90度回転させて、電池カバーを取り外します。

- 操作範囲が狭くなった、または操作ボタンを押しても動作しない場合は、新しい電池に交換してください。
- 電池は、コイン形リチウム電池（CR2032）をご使用ください。

ヘッドホンスタンドの取り付け

付属のヘッドホンスタンドを以下の手順で本機に取り付けて下さい。

- テーブルの端に柔らかい敷物を敷き（傷つき防止）、本機の底面を上にしておきます。
- 下図を参照して、ヘッドホンスタンドのネジ穴と本機のネジ穴を合わせてください。
- 付属の六角レンチを使って六角ネジを時計回りに回してヘッドホンスタンドを取り付けてください。

接続する

接続例

- 本機にRCA オーディオケーブルは付属していません。
  接続には市販のRCA オーディオケーブルをお使いください。

⚠ **全ての接続が終わってから電源をオンにしてください。**

- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- ノイズ発生の原因となるので、各接続ケーブルを電源コードと一緒に束ねないでください。
- 各プラグはしっかりと差し込んでください。

接続例の説明

- 本機のINPUT1（❼）にCDプレーヤーを接続します。
- 本機のOUTPUT1（❽）をパワーアンプのCD INに接続します。
- アンプのAUX OUTまたはTAPE OUTを本機のinput 2（❾）に接続します。
- phones端子（❸）に1台または2台のヘッドホンを接続します。
  ヘッドホンのインピーダンスと感度に応じて、本機底面のoutput impedanceスイッチ（⓬）とgainスイッチ（⓭）を設定します。（9 ページ）
- 付属の電源コードを**ACインレット**端子（⓫）に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。

注意

- 出荷時は、日本国内向けに115Vに設定してあります。
  本機を日本国内で使用する場合、設定を変更しないでください。
- voltage selectorスイッチの設定を変更する場合は、電源コードを接続していない状態で切り換えてください。
- voltage selectorスイッチの設定を変更する場合は、電源電圧を確認し、上記の電源電圧に対応した設定にしてください。設定を間違えると、本機が故障します。
- 通電中にvoltage selectorスイッチの設定を切り換えると内部回路がショートし本機が故障します。

- 本機が電源に接続されると、standbyインジケーター（❶）が赤く点灯します。
- 本機のstandbyボタン（❶）またはリモコンのstandbyボタン（⓮）を押して電源をオンにします。
  standbyインジケーター（⓮）が緑色に点灯し、電源を切る前に選択されていたinputインジケーター（❹または❺）が点灯します。
- 本機のinputボタン（❹または❺）またはリモコンのinputボタン（⓯または⓱）を押して入力ソースを選択します。
  この接続例の場合、CDプレーヤーを選択するには本機のinput1ボタン（❹）またはリモコンのinput1ボタン（⓯）を押します。アンプのTV、DVD player、tuner、phono端子に接続された機器を選択するには、本機のinput2ボタン（❺）またはリモコンのinput2ボタン（⓱）を押します。
- 本機の電源がスタンバイ状態でも、output1端子にはinput1端子に入力された信号が常時出力されています。この接続例の場合、アンプでCD INを選択すると、本機の電源がスタンバイ状態でも、CDプレーヤーの音楽をスピーカーから聴くことができます。
- 本機のvolumeつまみ（❻）を回すか、リモコンのvolumeボタン（⓲）を押して音量を調節します。
- 一時的にヘッドホンの音を消したいときは、リモコンの**ミュート**ボタン（⓰）を押します。ミュート中は、選択されているinputインジケーター（❹または❺）が消灯します。
  もう一度**ミュート**ボタン（⓰）を押すか、リモコンのvolumeボタン（⓲）を押すとミュートが解除され、元の音量に戻ります。
- 本機の電源をスタンバイにするには、本機のstandbyボタン（❶）またはリモコンのstandbyボタン（⓮）を押します。
- 本機に内蔵されているマイクロプロッセッサー制御のリレーは、無音で入力ソースを切り換え、本機の電源オン／スタンバイの切り換え時や電源障害が発生したときの不快なノイズや聴覚へのダメージを回避します。

第3章　仕様

アンプ部

入力

RCA端子（input）２系統
入力インピーダンス　：50kΩ

出力

RCA端子（output）1系統　(input1のスルー出力)

ヘッドホン端子（phones）２系統（6.3 mmステレオ標準ジャック）
出力インピーダンス　：0 Ω／ 100 Ω（切り換え）
適合負荷インピーダンス　：16 Ω～ 600 Ω
定格出力　：150 mW ＋ 150 mW（負荷32 Ω）
170 mW ＋ 170 mW（負荷250 Ω）
100 mW ＋ 100 mW（負荷600 Ω）
歪率　：0.001 %（170 mW ／ 250 Ω時）
チャンネルセパレーション　：89 dB以上
S/N比　：101 dB以上（unweighted）
周波数特性　：1 Hz ～ 100 kHz（-1 dB）
最大ゲイン　：18 dB

一般

電源

AC100 - 120 V ／ 220 - 240 V（切り換え）、50/60 Hz

- 出荷時は、日本国内向けに**115V**に設定してあります。
  本機を日本国内で使用する場合、設定を変更しないでください。

消費電力

動作時：15 W 以下
スタンバイ時：0.45 W 以下

外形寸法

216 x 55 x 235 mm（幅 x 高さ x 奥行き、突起を含む）
ヘッドホンスタンド　320 mm（高さ）

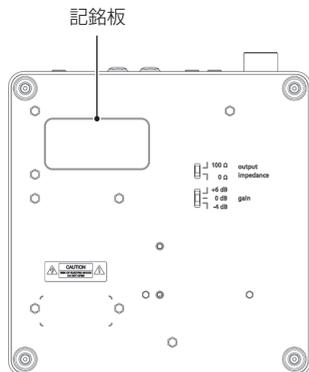
質量

2230 g

動作温度

10 ～ 40 ℃

記銘板は、下図のように底面にあります。

記銘板

リモコン（RC2）

外形寸法

36 x 9 x 120 mm（幅 x 高さ x 奥行き）

質量

36 g

電池

CR 2032 1個

● 取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
● 製品の改善により、仕様および外観が予告なく変更することがあります。

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカム カスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00 ～ 12:00 ／ 13:00 ～ 17:00です。

タスカム カスタマーサポート　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-809

PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137 ／ FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30 ～ 17:00です。

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS・IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合は、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。
このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033 ／ FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

1114-MA-2117A

http://tascam.jp/

Printed in Japan

無料修理規定（持込修理）

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、ティアック修理センターが無料修理いたします。

2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、ティアック修理センターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前にティアック修理センターにお問い合わせください。

3. ご転居、ご贈答品などでお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、ティアック修理センターにご連絡ください。

4. 次の場合には、保証期間内でも有料修理となります。

（1）ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
（2）お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
（3）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
（4）接続している他の機器に起因する故障および損傷
（5）業務上の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
（6）メンテナンス
（7）本書の提示がない場合
（8）本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名（印）の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

6. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

切り取り線

※ この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、ティアック修理センターにお問い合わせください。

※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間についての詳細は、取扱説明書をご覧ください。

保証書

品名および形名	beyerdynamic A2	
機番		
保証期間	本体	1年

お買い上げ日		
お客様	お名前	
	ご住所	電話　（　　）

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買上げの日から上記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、取扱説明書に記載のティアック修理センターまたはお買上げの販売店に修理をご依頼ください。

販売店	所在地・名称（印） 電話　（　　）

ティアック株式会社
〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

ティアック修理センター
〒358-0026　埼玉県入間市小谷田 858
電話：01-2901-1033

切り取り線